

図書館とともだち

図書館とともだち・鎌倉 おしらせ No. 215

2022・09・28

秋の夜やあまへ泣き居るどこかの子

—杉田久女—

台風の影響で荒れた天候が続いた後、
朝夕俄かに涼しくなってきました。
温かいお茶がおいしく感じられる季節。
図書館で
からだも心も温まるような一冊を探して
ページを開く愉しみ。
読書の秋の到来です。

| ○ CONTENTS ○ | PAGE |
|--|------|
| ☆ 鎌倉市職員採用試験で、司書が募集されました | …1 |
| ☆ ジャパンサーチへの鎌倉市図書館デジタルアーカイブの公開と神奈川新聞 WEB マイクロフィルムの利用を開始しました 鎌倉市中央図書館 浅見佳子 | …2 |
| ☆ 2022 年度第 1 回図書館協議会傍聴報告 | …3 |
| ☆ 図書館友の会全国連絡会 要請活動報告 | …4 |
| ☆ かまくら市民活動フェスティバル実行委員会報告 | …5 |
| ☆ 紙芝居『鎌倉玉縄のちよっと昔のお話し 昭和の初めの子どもの暮らし』お披露目会参加報告 | …6 |
| ☆ 松坡先生をめぐる人々8 大江卓 袴田 潤一 | …7 |
| ☆ 映画と本と図書館と/銀幕情報 | …8 |
| ☆ ボラ協報告/協働部会報告 | …9 |
| ☆ 市役所ロビーでのパネル展に出展しました | …10 |
| ☆ 鎌倉えほん作家通信 Vol.3 が発行されました | |
| ☆ 長野ヒデ子の世界展に行ってきました/活動日誌 | |
| ☆ 事務局から | …10 |

鎌倉市職員採用試験で、司書が募集されました



(C)Gemcloud

今年度の職員採用試験で、複数の職種の職員が募集されました。そのうちの1つが司書です。こうして司書が専門職として募集されるのは30年ぶりのことです。募集内容は鎌倉市ホームページ及び広報かまくら9月号に掲載されましたが、採用予定人数は若干名、受験資格は司書資格を有する又は来年3月までに取得見込みの人、そして1976年4月2日以降に生まれた人ということです。すでに申込期間は終了し、9月下旬に一次試験、その後二次試験、三次試験を経て、11月下旬に合格発表の予定です。

8月28日にこれを報じた鎌倉市図書館のツイートは61リツイートされた他、6件の引用ツイートもあり、そのいずれからも歓迎する声や応援する声が聞かれました。「市民の声は社会を動かす」「市民と議員とで取り組んできた成果の一つ」というコメントもありました。

私たちは2006年から数回にわたり要望書を提出するなどして正規司書職員採用を訴えてきましたが、昨年の署名活動と市長、教育長への提出、それに続いて議会へ陳情し、それが本会議で採択されたのが昨年の9月議会でのことでした。それから1年、こうして具体的に動き出したことは本当に嬉しいことです。これが今回のみにとどまらず、来年以降も採用が続きますように、これからも働きかけを続けていかなければと考えています。

(黒瀬聖子)

鎌倉市の図書館の新たな2つの取り組みについて、図書館からご寄稿いただきました。

ジャパンサーチへの鎌倉市図書館デジタルアーカイブの公開と 神奈川新聞 WEB マイクロフィルムの利用を開始しました

鎌倉市中央図書館 浅見佳子

この度、鎌倉市図書館は、所蔵する古文書、古絵図、古写真等のうち、1,176点のデジタル化資料の書誌連携をジャパンサーチと行うことになりました。

ジャパンサーチは、書籍、文化財、メディア芸術など、さまざまな分野のデジタルアーカイブと連携して、国内の多様なコンテンツの書誌情報（メタデータ）をまとめて検索できる分野横断型統合ポータルです。

国内の博物館、大学、図書館等、令和4年（2022年）8月現在94機関が連携しており、約2,600万件のメタデータを検索することができます。

令和元年度（2019年度）には、図書館とともだち・鎌倉の皆様にもご参加いただきましたが、MLA（ミュージアム、ライブラリ、アーカイブ）連携やデジタルアーカイブの可能性について、講師としてお呼びした国立国会図書館職員からジャパンサーチの取り組みを例にお話を伺うなどの調査研究を行ってきました。

その成果が今回ようやく実を結び、鎌倉市図書館のデジタルアーカイブ「鎌倉市図書館近代史資料室」のジャパンサーチでのデータ公開を開始します。神奈川県内の公共図書館としては当館が初の連携機関です。9月に入り、鎌倉市図書館ホームページにもジャパンサーチバナーを設置し、いよいよ本格稼働となりました。ジャパンサーチという大きな入口を持つことで、当館の電子資料が全国や世界から閲覧活用される機会が広がります。また、鎌倉市図書館のホームページから様々な分野にわたるコンテンツへのアクセスが可能になりました。

.....

令和4年（2022年）4月1日から、神奈川新聞 WEB マイクロフィルムが、鎌倉市中央図書館で利用できるようになりました。

鎌倉市中央図書館では、昭和20年代からの神奈川新聞を全紙所蔵していますが、紙自体の劣化が激しく、閲覧するたびにポロポロと端から崩れ落ちる状態が悩みでした。

今回導入した神奈川新聞 WEB マイクロフィルムは、神奈川新聞とその前身紙である横浜貿易新聞、貿易新報、横浜貿易新報、東海新報、相模合同新聞の明治23年（1890年）から約130年分を収録しています。神奈川新聞は30日前までの紙面が閲覧できます。マイクロフィルムの電子版ですので、文章やタイトルでの検索はできませんが、年月日や面を指定でき、プリントアウトもできます。

新聞本紙については、中性紙で包む等、紙の酸化をなるべく防ぎながら、今後も紙の状態で保存していく予定です。今まで鎌倉市図書館に所蔵がない部分の閲覧のため、日本新聞博物館や市外の文書館に足を運んでいらした方も多かったので、今後の調査研究にぜひ役立てていただければと思います。

.....湘南邸園文化祭のご案内.....

今年も湘南邸園文化祭が始まりました。12月8日（木）まで、各地で魅力的な催しが開催されます。ガイドブックは同文化祭ホームページから閲覧、ダウンロードできます。

<http://shonan-teien-festival.org/> ガイドブックは、鎌倉市図書館5館にも置かせていただいています。

2022 年度第 1 回図書館協議会傍聴報告



2022 年 8 月 2 日に中央図書館多目的室で行われた図書館協議会を傍聴しましたので報告します。委員 1 名が欠席、傍聴者は 5 名でした。

報告事項の「写真集の出版」については以下のような計画変更の説明がありました。市の予算がついているが、少しでも費用を節減するために白黒写真のページは紙質を落とす、多くの人が入手できるように地元だけでなく全国の流通に乗せ、デジタル版の販売もする、それに伴う追加費用はガバメントクラウドファンディング(目標金額 400 万円)を実施して補うというものです。委員からの財源に関する確認の質問に対して栗原館長からは目標金額が達成されなくても図書館振興基金は活用せず一般財源で対応すると回答されました。

次に「第 4 次鎌倉市子ども読書活動推進計画」を策定する連絡会議での審議経過が報告され、計画の重点を「読書バリアフリーの推進」と「GIGA スクールを含む電子と紙の資料のハイブリッドな活用」の二つに置いて素案を策定したいということでした。委員からは「バリアフリーの取り組みではマルチメディアダイジェスト、電子書籍など様々な媒体を用意する、ハイブリッドについては本も使った調べ学習の取り組み、端末に朝読に使えるコンテンツを入れる、デジタルコンテンツを使いこなし生徒に案内できる人材を確保するなどが大事だ」「学校現場ではタブレットに少しずつ慣れていく段階で、いまは調べる活動が中心、読書にどう活用するかは今後の課題、図書館にも手伝ってほしい」などの意見が出ました。

利用統計についても報告があり、2021 年度は来館者数、貸出利用人数、貸出点数など、すべての利用指数で大きく回復し、ほぼコロナ以前にもどった、貸出点数制限を撤廃したのが大きく影響したと思われる、暫定的な措置だったが、今年度中に条例施行規則を改訂し正式なものにしたいということでした。以上のほかに「予算」「重点目標」など全 6 件の報告事項はいずれも承認されました。

次に協議事項の「令和 5 年度図書館振興基金活用事業」について説明がありました。一つは彩色絵図『江ノ島鎌倉道中記』の購入(本体 15 万円)、もう一つは貴重写本『旧福井藩日誌』のデジタル化(約 16 万円)です。前者は江戸時代の観光絵図で東京国立博物館、三井文庫のみ所蔵、ネットにも公開されていない貴重資料、購入後デジタル化し HP にアップする、後者は図書館所蔵の資料で初代鎌倉図書館の寄贈者・東郷慎十郎氏の寄贈資料、両者とも原案どおり承認されました。

最後に諮問事項の「第 4 次鎌倉市図書館サービス計画」について説明があり、若干の質疑が行われました。「第 4 次計画」は「第 3 次計画」では達成できなかった課題への対応と市庁舎移転に伴う新深沢図書館と新中央図書館の開館に向けての土台作りとして位置づけ、期間は 3 年とする、内容の大きな柱は「持続可能な図書館運営に向けての土台作り」と「図書館サービスを支える人材の確保と育成」とし、具体的にはデジタル環境の整備、図書館を利用しづらい人へのサービス拡充、市庁舎移転に伴う新図書館の検討、技術職司書の適正配置などの項目が挙げられています。委員からは「人材確保に関連して司書採用は今どうなっているのか」「子ども読書の計画でもバリアフリーが課題となっているが、その関連は？」などの質問がありました。これに対して栗原館長からは公表されている司書採用のスケジュールを説明したうえで「最低 2 名の司書採用が必要、新図書館についてはこういう機能を持たせ、こういう人が必要だと訴えていきたい、二つの計画で重なっているバリアフリーについてはうまく棲み分けをしていきたい」と回答されました。司書採用の経過については報告事項で触れてほしかったと思います。また、司書の適正配置に関して「協議会や支援してくれている方たちとともに望みは高くもって進めていきたい」という館長の言葉が印象に残りました。

(和田安弘)

図書館友の会全国連絡会 要請活動報告

当会が団体会員として加わっている図書館友の会全国連絡会（以下、図友連）が図書館を所管する文部科学省と、指定管理者制度を所管する総務省に宛てて要望書を提出するようになって20年近くになります。その度に衆・参国会議員の国会事務所を訪問するロビイングも併せて行ってきましたが、ここ2年はコロナ禍もあり要望書提出は両省庁への送付のみとなっていました。

しかし、今年は3年ぶりに面談による要請活動を再開し、加えて国立国会図書館にも要望書を提出しましたので報告します。（※要望内容については添付資料①②をご覧ください）

以前と違い厳しい制限があり少人数にならざるを得ませんでした。大阪（事務局）、広島（要望書プロジェクト担当）、東京（添付資料担当）、神奈川（代表、代表補佐）からのメンバー5名で数日間にわたる要請活動を実施することができました。

- 9月6日（火）文部科学省 築和生副大臣に要望書を手渡し面談、その後事務方と意見交換
- 7日（水）総務省 尾身朝子副大臣に要望書を手渡し面談、その後事務方と意見交換
- 8日（木）国立国会図書館 山地康志総務部長に要望書を手渡し事務方と共に意見交換

また、各日とも空いた時間を活用して議員会館事務所に出向き、図書館行政に関わりのある文部・文教科科学委員会の衆・参国会議員や、超党派で組織される図書議員連盟や活字文化議員連盟に所属する議員や政策秘書に資料を手渡し、公立図書館の振興と発展の願いを伝えてきました。「図書館がよくなることに異論をもつ議員はいないよ」「このような草の根の運動は大切、いい活動をしているね」「歴史と文化の要である図書館の問題は超党派で取り組むべきこと」など数々の言葉を聞き、意を強くしました。

要請前後の5日（月）と9日（金）には（公財）文字・活字文化推進機構や（公社）日本図書館協会に出向き、この間の動きを報告、共有するとともに、図書館振興のための今後の連携や取り組みについて具体的な議論ができたことも大きな収穫でした。

文部科学省からの回答は面談報告書の形で、そのほかは文書でいただく予定です。回答が届き次第改めて報告したいと思います。（阿曾千代子）



○▲□ 第108回全国図書館大会群馬大会がオンラインで開催されます！□▲○

〜〜 図友連が第16分科会を担当する全国大会に参加しませんか？ 〜

当会代表の和田安弘が登壇し、司書採用に向けた鎌倉の動きを報告します！！

そのほか、日本の図書館の現況を、障害者サービス、電子図書、ギガスクールと学校図書館、資料保存、非正規職員問題など様々な角度から見聞することができます。申込後送られてくる視聴IDで一定期間、都合の良い日時に合わせてアクセスし全ての分科会に参加することができるのもオンライン大会の魅力です。

<https://g-regi.jp/108th-taikai/>からお申し込み下さい

参加費 3,000円（インターネットでの視聴・大会記録誌等）

参加申し込みは10月7日（金）までにどうぞ♪



第24回かまくら市民活動フェスティバル実行委員会報告

8月9日、22日、31日、9月13日、16日、28日

今年は、TOTOMOからも実行委員を出してほしいというお話があり、お受けしました。20年近く前に実行委員を引き受けたことがあります。今は会議がZoomで行われたり、メールで実行委員同士のやり取りがあったりで時代の変化を感じています。

フェスティバルもここ2年は、コロナの影響を受けていましたが、今年は、コロナ前のように鎌倉生涯学習センター地下ギャラリーでのパネル展のほか、MUJIcom鎌倉での1週間にわたる展示とワークショップ、山崎の鎌倉中央公園での野外イベントと多くの催しが企画されています。「市民活動のすそ野を広げる」を目的に、テーマは『「せっかくの鎌倉」だから、市民活動しませんか？素敵なまちづくりのために』です。現在、Zoomによる会議で、どんな団体や個人に声をかけて、どんな催しをするか話し合っています。TOTOMOとしては、23日に、おはなしひこうせんによるバリアフリーをテーマにしたおはなし会を計画中ですが、詳細が決まれば、NPOセンターのHPや広報かまクラの11月号などでお知らせいたします。お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。(杉崎敦子)

現在決まっている日程

11月21日(月)~27日(日)MUJIcom鎌倉

12月3日(土)鎌倉中央公園(雨天中止)

12月10日(土)、11日(日)鎌倉生涯学習センター地下ギャラリーほか

紙芝居『鎌倉玉縄のちょっと昔のお話し 昭和の初めの子どもの暮らし』お披露目会参加報告

8月24日(水)・27日(土)玉縄図書館にて

コソガイ(鎌倉くらしと子育てガイド)と玉縄図書館の主催で制作している『鎌倉玉縄のちょっと昔のお話し 昭和の初めの子どもの暮らし』の紙芝居の試作版が出来上がり、玉縄図書館でお披露目会がありました。コソガイでは、子どもたちが自分の住む町の少し昔を知る手掛かりとして、地域の資料を辿り、古老たちからお話を聞き取り、「まちの記憶」として絵と文章に残し、伝えるプロジェクトを行っています。2020年には、『ユリと玉縄小学校のお話し』という紙芝居を作って、玉縄でのユリの栽培の歴史を子どもたちに伝えています。

今回は大正生まれで今年96歳の石井博さんのお話をもとに渋谷雅子さんの絵で、小学校の引っ越しの様子やお祭りの楽しみ、お手伝いで肥しを運んだ様子などが生き生きと描かれていて、とても楽しい作品でした。玉縄に暮らす子どもたちが、この紙芝居で地域の歴史やそこにあった昔の暮らしに興味を持ってくれたらいいですね。

今後、地域の商店のウインドウや玉縄図書館、小学校の図書室な

どで、「鎌倉の昔の話」の絵や文章・資料の展示なども企画されているとのこと。地域の歴史について伝えていくことは地域の図書館の大切な仕事の一つであると、佐藤館長はおっしゃっていました。

紙芝居が完成したら、玉縄図書館での貸し出しが始まるということです。

(杉崎敦子)



上 玉縄図書館紙芝居お披露目会

下 紙芝居「鎌倉玉縄のちょっと昔のお話し」

表紙 (お話:石井博 絵:渋谷雅子)

松坡先生をめぐる人々⑧ 大江卓

松坡文庫研究会 代表 袴田 潤一

明治初年に神奈川県令を務め、1872（明治 5）年にマリア・ルス号の中国人苦力^{くろり}全員を本国に送還させることに尽力したことで神奈川県民にはよく知られている大江卓（1847～1921）もまた松坡先生と親しく交際した一人でした。

大江卓はその後 1874（明治 7）年に官を辞し、西南戦争に呼応して義挙するも捕らえられて獄に繋がれます。出獄後は代議士を務めましたが、実業界に転じ、大きな仕事を残しました。揚鶴と号して漢詩を詠み、漢詩壇で重要な位置を占めたことについては殆ど知られていません。詩集も幾つか残しています。岩手監獄収監の間（実際は軟禁状態だったそうです）には、少年の上村才六（1866～1946 号は賣劍）に漢詩の手ほどきをしています。大江卓が当時詠んだ漢詩は、後にジャーナリスト・出版人・漢詩人として大活躍した上村才六の手で『鐵橋詩存』の名で出版されています。上村才六は松坡先生の 50 年以上に互る盟友となるのですが、そのことは別の機会に譲ります。

大江卓と松坡先生が親交を持つようになったのは明治 20 年代後半のことだと思われます。松坡先生は当時共立^{きやうりゅう}学校（後の東京開成中学校）の教員でしたが、詩人としても活躍し、杉浦梅潭^{ばいたん}率いる晩翠吟社の幹事を務め、中央の漢詩壇で重要な立場にいました（晩翠吟社の月例会を記録した『晩翠吟社詩卷』11 巻が鎌倉市中央図書館の松坡文庫にあります）。大江卓が晩翠吟社に直接関わったという記録はありませんが、晩翠吟社やその他の詩社の詩人（森槐南、永坂石埭^{せきたい}、大久保湘南、土居香國・上村才六など）と親交を結んでおり、大森にあった自らの明星山房でしばしば詩会を開いています。そうした中、大江卓と松坡先生の交友が生まれたと思われます。松坡先生は明治 40 年前後から鎌倉に住み、同じく鎌倉極楽寺の針摺橋付近に別荘を持っていた大江卓とも交流を持ちました。松

坡先生と親しく、やはり鎌倉一の鳥居に別荘を構えていた松方正義（1835～1924 号は海東）の古稀を祝った大江卓の詩「壽海東松方伯七秩」もあります。松坡先生と松方侯との親交については連載の第 1 回で紹介しました。

松坡先生と大江卓の親交の深さを物語るのが、明治 45（1912）年 7 月に二人で出掛けた山陰旅行です。どういう経緯で旅を共にすることになったのかは不詳ですが、7 月 9 日に鎌倉を発ち、数日間にわたり、京都・宮津・舞鶴・天橋立・松江・出雲を訪れました。松坡先生の 24 篇の連作詩から成る「山陰游草」と題された漢詩が残されています（『隨鷗集』95 編 大正元年 10 月）。松江では山陰を代表する剪淞^{せんしゅう}吟社の歓迎の宴（松崎水亭）に共に招かれています。「鳥取驛分袂聯句」を詠

み二人は鳥取で別れています。「山陰游草」の冒頭の詩は「陪揚鶴大江先生游山陰道七月九日發鎌倉有作（揚鶴大江先生に陪し、山陰道に遊ぶ、七月九日鎌倉を発ち、作有り）」と題され、その最後には「偷得小閒忘俗累 山陰道上按詩行（小閒^{ぬす}を偷み得て俗累を忘れ、山陰道上、詩を按じて行く）」とあります。大江卓 66 歳、松坡先生 51 歳でしたが、各詩題から推察できる旅程は相当にハードなものでした。数日間の同行二人、どんなことを語りあったのでしょうか。

山陰游草
松坡 田邊 新
陪揚鶴大江先生游山陰道七月九日發鎌倉有作
平田一望綠盈盈節過分秋雨欲晴吹畝苦辛憐野老都門桂玉
歎書生萬錢騎鶴揚州客千里思鱸張子情偷得小閒忘俗累山
陰道上按詩行

「山陰游草」冒頭部分



第40回 **映画と本と図書館と**

『コロンバス』(原題: Columbus)

(2017年・アメリカ制作/監督:コゴナダ)

サンダンス・インスティテュート(米)プロドウェイ(日)配給(日本公開2020年)

「かまくら銀幕上映会」ナビゲーター 田邊 恵美

図書館のデータベース管理も今や、パソコン無しにはあり得ません。日本国内でも幾つかの古い図書館ではまだ、パソコン導入以前に入った本に関しては現役のカード目録があるようですが、PC管理の出来る司書、システム・ライブラリアンのニーズはますます増えて来る事でしょう。

しかし、映画の登場人物が司書、である場合は、PCの前に座ってカチャカチャとキーを叩いているだけでは普通のオフィスワーカーと差別化が出来ませんから、カートに積んだ本を移動させたり、といった『絵的に映える』シーンがこれからもよく使われるのかもしれませんが。

タイトルそのもの、舞台になっているオハイオ州コロンバスはモダニズム建築でも有名だそうで(知らなかった!映画よ、有難う!)その魅力をじっくり見せるカメラワークと、雨音や虫の音、控えめに使われる音楽といったサウンドトラックを堪能出来る作品であります。たしかによく考えれば、プロットや人物描写にあれっ?という所もあったのですが…。

映画をよくご覧になる皆さま、そういう作品の中のちょっと弱い部分が気になりすぎると、その作品の良い部分を無邪気に楽しめなくなります、ご用心!画面の隅々まで目を行き渡らせ、好きな部分をどうぞ頭の中で反芻してみてください。

主人公の女性が勤務している図書館の中で押しているブックトラックは、なんと、赤!日本の図書館で、グレーやベージュしか見た事のない私には、とても新鮮でありました。

かまくら銀幕上映会のお知らせ(主催:ドリーム・アーツ(03-5969-8081)於:鎌倉芸術館小ホール

10/3(月)『シング・ア・ソング!笑顔を咲かす歌声』 10/17(月)『金の糸』

11/7(月)『老後の資金がありません!』 11/22(火)『マイ・ニューヨーク・ダイアリー』

◎前売り券:1000円(当日券:1300円 ◎上映時間①11:00~/②14:00~

☆受付で「田邊さんから聞いた」とおっしゃっていただければ、前売り料金でご覧いただけます。

訃報

ととも会員 岡崎佐恵子さんが7月24日に逝去されました

岡崎さんは16ミリフィルム映写会「りんどう」の活動を率いてこられ2008年~2010年の協働事業の際には大変お世話になりました

とともの活動にご協力くださったことに感謝申し上げますとともに 心よりご冥福をお祈りいたします

ボランティア連絡協議会報告

◎ミニ研修「いざというときあわてないために」

8月18日(木)、委員会終了後に社会福祉協議会ボランティアセンターとボラ協との共催で研修を行いました。ボラ協の仲間の一つである「かまくら防災士ネット」の方に講師をお願いし、「いざ！というときあわてないために～防災・減災の基礎～」をテーマにお話いただきました。

日頃から漠然とした不安はあっても何にどのように気をつけ、どのような備えをしたらよいか、わからないことばかり、という方が多いのではないかと思います。皆、熱心に聞き入っていました。今回は1時間弱の短い時間で概要をお話いただきましたが、今後はテーマを絞って第2弾、第3弾を企画していきたいと思います。

◎かまくら福祉の市

9月4日(日)には、福祉センター駐車場と1階を会場として「かまくら福祉の市」が開催されました。恒例行事であった福祉まつりはCOVID-19の影響で昨年、一昨年は中止となりました。今年も2階会議室がワクチン接種会場として使用されている状態が続いていることなどから開催が危ぶまれましたが、規模を縮小し行事名も改めて開催の運びとなりました。

当初お天気が心配されていましたが、開会時には申し分のない晴天となり、暑さ対策に気を配ることになりました。メイン会場となる駐車場には福祉作業所のブースが並び、ステージではキッズダンスが次々に披露され、笑顔と拍手でいっぱいになりました。

ボラ協は福祉センター1階ロビーでの難民・ウクライナ避難民支援のための婦人服販売を担当しました。多くの方々が趣旨に賛同してお買い上げくださり、20万円を超える売上がありました。

(黒瀬聖子)



バザー会場

協働事業推進部会報告



9月19日(月・祝)9時45分から、市役所第3分庁舎において、つながる鎌倉エール事業協働コースの公開プレゼンテーションが行われました。台風14号の影響で時折強い雨風に見舞われる中でしたが、いずれも熱のこもった発表でした。審査選考は5名の市民活動推進委員が行います。

協働事業提案は公共性、公益性が重視されます。さらに今現在の行政サービスでは不十分な部分を補うものや、これまでになかった視点が多く見られます。委員の方々からは、この提案に対して市はどのように取り組むのか、といった質問が出されました。市の姿勢が消極的に感じられる、という発言も。中には、事業内容は大変意義があり、必要なことだけれど、本来単発の協働事業ではなく、市が予算化して取り組むべきものではないか、という意見もありました。その必要性に気づかせるためにも、協働事業が必要なかもしれません。1年限りの事業ではやれることに限界がありますから、より良い形で継続できるような取り組みができると良いですね。

6つの提案を聞きましたが、鎌倉の市民活動の多様さと奥深さを感じました。傍聴者は8名、そのうち5名が当部会員でした。

(黒瀬聖子)



TOTOMO COMING NEXT! 事務局からのお知らせ

灯火親しむべき候、図書館の棚をめぐり、今夜読む本を探してみませんか。

おはなしひろくせん勉強会

日 時： 10月20日(木) 10時~12時 場 所：福祉センターにて
テーマ： 「バリアフリー」バリアフリーに関連する絵本や紙芝居をご紹介します。
お問い合わせは、黒瀬 (TEL/FAX 0467-22-8545) まで。

読 書 会

日 時： 10月28日(金) 11時~12時半 場 所：NPOセンター鎌倉にて
テーマ本： ケン・リュウ著『紙の動物園』(ハヤカワ文庫)と茨木のり子著『詩のこころを
読む』(岩波ジュニア新書)です。
お問い合わせは、杉崎 (TEL/FAX 0467-41-4956) まで。

間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会

日 時： 10月5日(水) 13時半~ 見学会「間島夫妻ゆかりの築地明石町」
(旧外国人居留地にある青山学院発祥の地や大正時代に間島夫妻が住んでいた界隈を散策します)
◆今回の見学会は、間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会会員限定の催しとなります。
お問い合わせは、鈴木 (TEL 090-4728-5242) まで。

第24回かまくら市民活動フェスティバル

今年のNPOフェスティバルは、3つの会場で行う予定です。開催場所と日程は下記のとおり。

- ・MUJIcom 鎌倉 11月21日(月)~27日(日)
- ・鎌倉中央公園 12月3日(土)(雨天中止)
- ・鎌倉生涯学習センター 12月10日(土)・11日(日)

※詳細が決まり次第、TOTOMOのHPやFBでお知らせします。

お問い合わせは、NPOセンター鎌倉 (TEL 0467-60-4555) まで。

お誘いあわせの上、
ご参加ください!

松坡文庫研究会 第3回研究会 松坡先生「鎌倉を詠う」

日時： 10月8日(土) 14時~16時 場所： 鎌倉商工会議所3階301会議室
定員： 35名(申し込み順) 参加費： 資料代500円(当日お支払いください)
※会報214号では、10月9日(日)としていましたが、開催日程は10月8日(土)に変更になりました。
申し込み、お問い合わせは、鎌倉市中央図書館 (TEL 0467-25-2611) まで。

※上記の各会については、COVID-19感染の状況により、変更になる可能性があります。

参加される方はTOTOMOのHPやFBでご確認いただくか、お問い合わせください。

★図書館友の会全国連絡会

国への要請活動を終え、現在報告書をまとめているところです。各処より回答が届き次第、図友連 HP にアップされますのでご覧ください。

お問い合わせは、阿曾 (TEL/FAX: 0467-45-5731) まで。



編集後記 * * * * *

☆今年のNPOフェスティバルは、3会場で行われます。MUJIcom や中央公園での催しは初めてです。いつもと違うNPOフェスティバルにぜひお出かけください。(A.S)

☆TOTOMOが16年に亘り要望してきた鎌倉市の司書採用試験が始まりました。図書館 Twitter への関連ツイートの数々。この日を待っていたのはTOTOMOだけではなかったということですね! (M.S)

題字・巻末カット：小島寅雄 2022年9月28日発行
図書館とともだち・鎌倉(代表：和田安弘) 編集：阿曾・黒瀬・目黒・杉崎・斉木
事務局：〒248-0005 鎌倉市雪ノ下1-14-34(黒瀬) TEL/FAX 0467-22-8545
HP：<http://totomo.sakura.ne.jp> E-mail: toshokantomodachi@gmail.com

